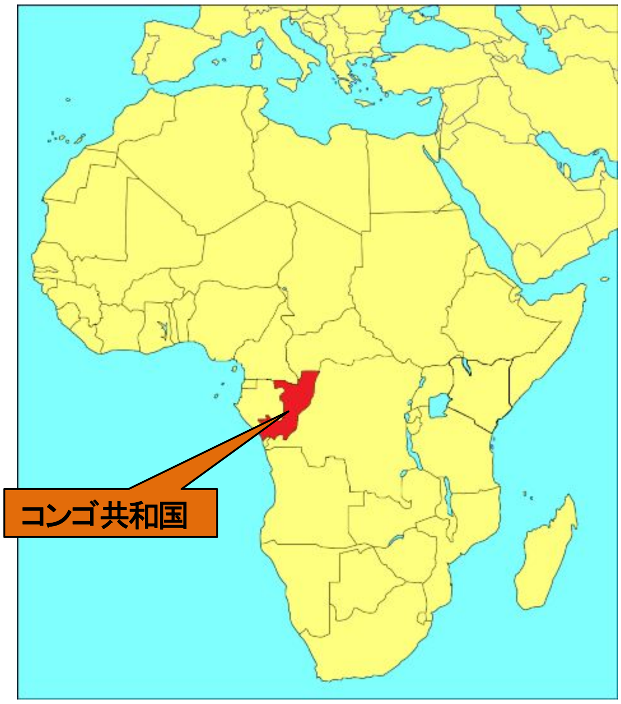
コンゴ共和国でチクングニア熱が発生

2011 年 6 月 16、17 日 ProMED 情報



2011年6月15日 UN Integrated Regional Information Networks News

2週間前からコンゴ共和国の首都ブラザビルBrazzavilleで、およそ1,000名のチクングニア熱疑い患者が報告されています。主にブラザビル南部の貧しい地区（Bacongo及びMakelekele）で6月上旬より流行が発生しました。

2011年6月17日 National Referrence Centre for Arboviruses,Institut Pasteur Paris,France

5月5日、コンゴ共和国からフランスへの輸入例が1名発見されました。このウイルスの遺伝子解析は、2006年カメルーン、2007年ガボンで分離されたタイプと同じ系統の中央アフリカサブタイプに属し、E1蛋白質が、ヒトスジシマカでの増殖に適応したE1-A226Ｖ（226番目のアミノ酸がアラニンからバニンに置換）であることが確定されました。このタイプは、少なくとも2006年以降、中央アフリカや西アフリカで確認されています。なお、これまでコンゴ共和国でヒトスジシマカの存在は報告されていませんが、近隣諸国では正式に確認されています。

厚生労働省 福岡検疫所